

(1) まちづくりに関する方針

計画名称	西山地区まちづくり計画
目標・テーマ	<p style="text-align: center;">人びとの絆を土台とし、豊かな自然や歴史・文化、 快適な暮らしを守り・育むまち 西山</p> <p>西山地区は、江戸時代の書物にもその名が残る歴史ある地区です。地区内には、線刻板碑などの文化財や古墳等の史跡が見られ、古くからある人びとの暮らしを物語っています。飯盛山やトンガリ山、西之池、西川といった豊かな自然環境のもとで生息する生き物は多く、渡り鳥も訪れるなど、生態系も豊かです。</p> <p>その環境を守るのは、農業を中心とした生活や里山との関わり、さらに、地区に根差した伝統行事や町内行事であり、そして、それを継承してきたのは、この地に暮らす人びとの繋がりが絆でした。今でも、長年住む住民だけでなく、子育て世代や若年世代も協力しながら、巖島神社や西山公会堂を集いの場とし、まちの歴史を紡ぎ続けています。</p> <p>そのような人びとの繋がりを土台に、老若男女の知恵を組み合わせ活かしながら、引き続き豊かな自然・生態系、歴史や文化、快適な暮らしを守り・育んでいくことを目標として、西山地区のまちづくりを推進します。</p>
過去最大人口	<p>368人(昭和46年以降でピークとなる平成6年の人口)</p> <p>(参考)368人(平成6年)－228人(令和6年)＝140人</p>

項目	まちづくり方針	
1. 集落環境の保全に関する事項	建物の高さについて	・ 10m(3階)以下とする。
	汚水対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道区域は公共下水道へ接続し、その他の区域は合併処理浄化槽で適切に処理する。 ・ 生活環境や農業環境への影響を防止し、周辺との調和を図る。
2. 集落景観の保全・形成	地区景観計画(基準)の指定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物の形態・意匠は、周辺の風景や集落の景観と調和するものとする。 ・ 屋根は、勾配屋根を推奨する。 ・ 屋根や外壁には派手な色彩を使わず、田園風景に調和した落ち着いた色調のものとする。
		<p style="text-align: center;">【色彩の基準：マンセル表色系】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 色相YR・R系は彩度6以下、Y系は彩度4以下、その他は彩度2以下、色相Nは認める。 ➤ 土、木、レンガ等の自然系素材を用いる場合及びそれに類似の材料等は、この限りではない。
		・ 工作物(太陽光発電施設等)を設置する場合についても、周辺の風景や集落の景観との調和に配慮する。
		・ 眺望スポットからの里山景観や水辺景観の保全に努める。

3. 公共施設の整備を図る取組み	道路、公園・広場、排水施設、水路等の整備について	・ 県道等の幹線道路やその交差点においては、歩行者空間や待避場所の確保、街灯の設置、抜け道利用の防止等、安全化を図る。
		・ 市道(2項道路)は、有効幅員 4m を確保するため、「狭あい道路の整備に関する協定書」等に基づき、中心線から 2.17m のセットバックを行い、建て替え等に合わせて道路を拡幅整備することを目標とする。
		・ 町内の主要生活道路や狭あい道路については、空き地化や建て替え等の機会を捉えて順次安全化・快適性の向上(隅切り設置、離合帯設置、グレーチング設置等)を図る。
		・ 厳島神社や西山公会堂をまちの拠点とし、人びとの交流や繋がりを生む新たな車両動線の確保に向け検討する。
		・ 厳島神社北側公園の遊び場としての環境改善のほか、休耕田や空き地、西之池の周辺、地藏堂周辺等を活用し、子どもの外遊びや住民交流のできる広場の整備を検討する。
4. その他の施設の整備を図る取組み		・ 町内イベントの会場など、人びとの交流の場である厳島神社や西山公会堂について、スペースの拡大や機能の強化を図る。また、防災拠点としての機能強化も図る。
		・ 河川・水路・ため池等水利環境の維持管理を図る。
5. 安全安心対策		・ 幹線道路の交差点における見守りや、主要生活道路における清掃、障害物の撤去、夜間の門灯点灯等により道路の安全安心化を図る。
		・ 浸水被害への備えに向け、地区内の防災拠点(厳島神社・西山公会堂・消防車庫周辺の水利等)の整備や強化、避難場所(いずみプラザ)への避難訓練等の実施を検討する。
		・ 農振農用地区域などの農地やその環境の保全、それと調和・共存する快適な集落環境づくりを目指し、害獣対策も含めた休耕田や空き地、空き家の適切な維持・管理に努める。また、既存事業所とも調和・共存を目指した集落環境づくりを目指す。
6. 歴史を活かす取組み		・ 厳島神社、線刻地藏板碑、弥陀三尊種子板碑、弥陀一尊種子板碑、地藏堂等、まちに残る歴史的資源について保全・活用に取り組むとともに、地域の魅力要素として広く PR する。
		・ 祭りや伝統行事等を次世代に継承する(秋祭り、亥の子祭り、お祷、盆踊り、地藏盆、あぜやき、かいぼり、年末警戒等)。
7. 自然を活かす取組み		・ 飯盛山やトンガリ山、西之池、西川といった豊富な自然環境の保全を目指し、人びとが自然や生態系に触れ・知り・関心を持つことができる機会を創出する。
		・ 里山やため池、田園風景と一体となった農住の共存する集落環境を活かし、人びとの繋がりの場の創出や新規居住者(空き家の借り手等)の誘致、空き地・空き家の適切な管理・活用のしくみを検討する。

(2) 土地利用構想

ゾーン区分		整備イメージ
保全 ゾーン	森林保全ゾーン	森林・里山などの大切な自然として保全するゾーン
	森林活用ゾーン※	里山の活用や観光果樹園など森林資源の活用を図るゾーン
	農業保全ゾーン	農振農用地区域などの今後とも農地を保全していくゾーン
	農業活用ゾーン※	地区外の方との交流のためなど農業資源の活用を図るゾーン
開発許容 ゾーン	農住共存ゾーン	集落と農地が調和・共存する環境を維持するゾーン
	集落活性化ゾーン※	新規居住者をはじめとする新たな住宅立地を促進するゾーン
	住工共存ゾーン	既存事業所の継続と集落環境との調和を図るゾーン
	沿道活性化ゾーン※	幹線道路沿道で生活利便施設及びサービス店舗等の立地を誘導するゾーン

※西山地区のまちづくり構想図に使われていないゾーン